



Vol.10

もり  
エコ森林通信

At A Glance

With Christmas just around the corner, homes around the world are putting up a festive Christmas tree. However, in Germany alone around 23 to 26 million trees are cut down every year for the festive season. This has negative impacts on the environment and thus sustainable alternatives are becoming more and more popular. How about renting a Christmas tree this year or making your own plastic-free decorations?

For more detail, please see the Japanese version.

Happy holidays!

Text by Gajewski, Lea  
環境事業部 陸域環境チーム  
興味:コウモリ、持続可能な活動

クリスマスまであと数日となりました。この記事ではクリスマスシーズンにちなんで、クリスマスツリーをじっくりと見ていきたいと思えます。ドイツをはじめ、世界中の多くの国では、すでにクリスマスの準備が本格化しています。国によって伝統は異なるかもしれませんが、ヨーロッパのほとんどの国では、クリスマスはキリスト教と密接に結びついており、ナザレのイエスの誕生が祝われています。誕生日は12月25日とされていますが、お祝いはずでに前夜から始まっています。24日、ほとんどの家族がクリスマスキャロルを歌い、ヨセフとマリアのベツレヘムへの旅と息子の誕生を再現した降誕劇を見るために教会を訪れています。教会の後、家族の中でのお祝いは続き、家に帰ると、子供たちはクリスマスツリーの暖かい光の下にプレゼントが置かれているのを発見します。飾り付け、温かく照らされたクリスマスツリーのイメージは、クリスマスの象徴となっています。

ところで、モミ属やトウヒ属はどのようにしてクリスマスツリーになったのでしょうか？

クリスマスツリーの起源ははっきりとは知られていませんが、最初に論文で言及されたのは、1419年のドイツでした。中世のキリスト教徒は、クリスマスイブに当たるアダムとイブのごちそうの日を、「楽園劇」と呼ばれる一種の神秘劇で祝いました。「楽園劇」では、楽園でのアダムとイブの物語が演じられ、知識の木は常緑のモミの枝にリンゴやプレッツェル、木の実を結んで表現されていました。この頃から、クリスマスにツリーを立てることが急速に広まってきました。15世紀には、クリスマスツリーの需要が高まり、ストラスブル（旧神聖ローマ帝国の一部、現在はフランスの一部）では、一世帯あたりのツリーの本数を1本に制限し、松の枝を切らないようにするための法律が制定されました。その後、この伝統は500年の間に世界中に広まり、現在では、クリスマスツリーは多くの家庭で見かけるようになりました。

私の故郷ドイツでは、毎年2,300万本から2,600万本の木が、クリスマスシーズンのためだけに伐採されています。これは環境に悪影響を与えているため、最近では影響を低減するための新

たな試みが始まりました。その1つがレンタルクリスマスツリーです。

ツリーを伐採するのではなく、12月の初めに鉢植えのツリーとしてレンタルし、クリスマスが終わったら1月の初めに返却するというものです。その後、レンタル会社が翌年までツリーを預かってくれるので、毎年帰ってくる家族の一員として、レンタルクリスマスツリーに名前を付ける家庭もあります。しかし、欠点が1つあります。暖かい家の中では、ほとんどのツリーは冬の休息から目覚め、芽を出し始めてしまいます。その木が再び寒さにさらされると、通常はすぐに枯れてしまいます。そのため、涼しい場所（ガレージや階段など）で鉢に入れて保管するのがベストです。正しくお手入れをすれば、ツリーは何度もクリスマスを迎えることができます。



藁の星

ツリーだけでなく、クリスマスの装飾にも、より持続可能で安価でユニークな選択肢があります。クリスマスボールのようなプラスチック製品の代わりに、森の中を散歩中に収集した松ぼっくり、クルミ、乾燥オレンジやリンゴのスライスなどを使用することができます。また、友人や家族と一緒に藁で星を作ったり、新聞で天使を折ったりすることで、クリスマス気分も盛り上がります。私の個人的なお気に入りには、食用の装飾です。ジンジャーブレッドマンと呼ばれる人型のクッキーやキャンディーケーンをツリーに飾ることで、クリスマスディナーまでの時間を耐えられます。



キャンディーケーン



クリスマス用のジンジャーブレッドマン

しかし、結局のところ、プレゼントやツリーは重要ではありません。クリスマスには、感謝し、慈悲深く、寛大であることなど、キリスト教の価値観を思い起こさせることが重要だからです。私たちの愛しい人、遠く離れた家族に感謝し、健康と暖かい家に感謝します。今年のような不遇な状況下でも、キリスト教の教えを胸にクリスマスを祝い、人生をスローダウンし、楽しみ、来年に向けて充電していただければと思います。

「クリスマスは時間や季節ではなく、心の状態。平和と善意を大切にして、慈悲を多く生み出すことは、クリスマスの真の心を持つことである。」 -カルビン・クーリッジ。

そういう意味を込めて、**メリークリスマス！**